



大会長挨拶

有事・災害時にもっとも大事な農と食を
考えるシンポジウム

大会長 由井寅子

「日々安心して自然な生き方を望んでい
る皆さんへ」

日本豊受自然農代表の由井寅子です。
もう少しで新型コロナウイルスも解かれる
ところまで来ましたね。本当に良かった
です。さて、皆さんは今回の新型コロナ
騒動で何を学びましたか？私は普通
に外出できることがとてもありがた
いことだと思いました。東京がロック
ダウンするのではないかと騒がれた日
に、スーパーに買い物に行きましたが、
長蛇の列で買い物をあきらめ、自宅に
帰って冷蔵庫にあった豊受無添加レト
ルトや無添加の飲み物をありがたく
いただきました。スーパーで買い物でき
ること、豊受食品があることをありが
たく思いました。このように、当たり
前にできることができなくなることで

当たり前にできていたことをありがた
く思える心が育ちました。そして、ホ
メオパシーのレメディがあること、
病原体の起源と役割を理解しているこ
とで、新型コロナウイルスへの恐れをもたず生
活できることに改めてありがたいこと
だと思いました。

自粛の中でも農業は三密にならない
ので続けて来れました。また、豊受オー
ガニックショップ&レストランも来て
くれる人の数は減りましたが、野菜や
豊菌グルト、レトルトなどの食品、豊
受弁当などを求めて来られるお客様が
いますので店を開けてもらいました。
今回の件でも分かったと思いますが、
食べることを止めることはできず、何
がなくても食べ物は必要であるとい
うことです。食は私たちに与えて最も大
切なものなのです。その大切な食が安
心・安全・栄養があるものであるべき
ことはいままでもありません。だから、
その食の元となる農業が何よりも大
切になるのです。

「種子が大事！」

コロナ騒ぎの最中、政府によって種
苗法改正の法案が国会に出されていま
す。この改正をきっかけに、各国の農
民とさまざまな争いとなつていく多
国籍の種苗会社によって将来、日本の種
苗がコントロールされるような事態に
なつた場合の懸念もあります。

たとえば、現在、自家採種できてい
る登録品種の種の権利を買い占められ
たり、種苗市場を独占されたら、農家
は自然なタネをすることもできなくな
る可能性が非常にあります。実際にイン
ドでは、綿のタネが独占され、高価な

遺伝子組み換え種子を買うしかないよ
うな状況になり、借金を返せず、多く
の自殺者が出たとも聞きます。作物に
よつては、遺伝子組み換え種子やゲノ
ム編集された種子しか栽培できないと
いう状況すら招きかねません。

このように種苗の問題は実は農家だ
けの問題ではありません。安全・安心
なタネが守れないということは、安心・
安全な作物がスーパーから消えるとい
うことを意味するのです。自然な生き
方を望んでいる皆さんにとつても実は
大きな問題なのです。ですから、自家
採種している農家や、日本の種苗会社
が団結して自然なタネを守っていく必
要があるのではないかと思います。そ
うしないと自然なタネはどんどん手
入りにくくなり、やがてなくなつてし
まうでしょう。自家採種することへの
ハードルが上がれば上がるほど、それ
は加速すると思います。自家採種中心
で在来種を育てている豊受自然農とし
ては大変なことになると思いました。

6月6日(土)のイベントでは、
この種苗をめぐる国内外の最新の状況
については印鑰(いんやく)智哉さん
へお話を伺うなど、この問題を考え
ていきたいと思えます。また、遺伝子組
み換え由来のGMO食品を止め、食を
改善することで多くの病気が改善
していった実例などを映画「遺伝子組
み換えルーレット」のジェフリー・M・
スミス監督とのインタビュー映像も
会場でお披露目の予定です。
栄養一つとっても、遺伝子組み換え
のタネと普通のタネから栽培されたト
ウモロコシを比較すると、ミネラル分
などの栄養価は10分の1、カルシウ
ムにいたっては40分の1になつて

いるというデータもあります。遺伝子
組み換え作物とセットで使われる除草
剤グリホサートによって大きな健康被
害が出ています。まず一人ひとりが食
と農業の在り方に興味を示し、国を
挙げて安心・安全な食を求めることが
とても大事になると思っています。さら
に今回の新型コロナウイルスのパンデミックの背
景でさまざまなグローバルな問題が私
たちの経済や生命を危機にさらしてい
ますので、種子の問題だけでなく注
意する必要があります。今回はこれら
の動きについても二日間を通して取り
上げていきたいと思えます。

「土と腸は同じ！」

新型コロナウイルスのパンデミックを経験して
改めて私たちの健康にとつて、とても
大切なことはいかに免疫を上げていく
かということだと分かりました。そし
てその要となる臓器は「腸」であり、
食事であり、さらには農作物から農業、
土壌菌にまでさかのぼって対策をして
いく必要があることがわかりました。

6月7日(日)の東京シンポジウム
での基調講演として、「土と腸は大事！
土の土壌菌と人間の腸内細菌は同じ
だった！」をテーマに講演させていた
だきます。また、作物とブリーオン(病
原体タンパク質)についてもお話を
予定です。

6月7日は「土と腸は大事！」をキ
ワードに、血液をつくる腸、食こそが
免疫と健康の基本である点などを千島
学説・腸造血説研究家の酒向猛医師に。
「菌を味方にする食べ方と医療」をテ
ーマに豊受クリニック院長高野弘之医
師に。「生命食・微生物が支える健康」

最新情報はこちら



～土の土壌菌と
人間の腸内細菌は同じだった！～

有事・災害時にもっとも大事な農と食のシンポジウム

土と腸は大事!

6月6日(土) シンポジウム プレイバント		
時間	プログラム・内容	登壇者・発表者(敬称略)
9:30	開場・受付開始	
10:00	大会長挨拶	由井寅子 大会長
	「いのちを守るオーガニック農業と免疫を高める食 遺伝子組み換え、ゲノム編集、グリホサート土壌消失 自家採種、発酵・抗酸化食品などの世界のトレンドを 学びます」 (途中休憩有り)	ジェフリー・M・スミス<事前収録> (遺伝子組み換え問題の専門家) 由井寅子 (日本豊受自然農株式会社 代表 自然農農民・自然療法家) 印鑰 智哉 (世界の食問題研究家)
13:00	お昼休憩	
14:00	トークイベント「新型コロナを超えて 有事・災害時にもっとも大事な農と食」 (途中休憩有り) ※会場は飲食自由、豊菌グルトなどお楽しみください	由井寅子、高野弘之など登壇者、豊受スタッフに加え、 ゲストもお迎えし、実施予定
17:00	イベント終了(予定)	

6月7日(日) 有事 災害時にもっとも大事な農と食のシンポジウム 「土と腸は大事!～土の土壌菌と人間の腸内細菌は同じだった!～」		
時間	プログラム・内容	登壇者・発表者(敬称略)
9:20	受付開始	
10:00	開会式 国歌斉唱、開会挨拶 他	大会長 由井寅子 他
	来賓発表「生命食・微生物が支える健康」	山谷 雅和 (ワケンビーテック株式会社 開発本部執行役員・部長)
	来賓発表「腸内細菌がよるこぶ正しい食事・ 土地柄や季節に応じた伝統食の大切さ」	野口 清美 (正食料理研究家・自然療法家)
	来賓発表「日本の花からつくられた フラワーエッセンスによる癒し」	東 昭史 (フラワーエッセンス研究家)
	休憩	
	来賓講演「菌を味方にする食べ方と医療」	高野 弘之 (医療法人豊受会 豊受クリニック院長 自然派医師)
	記念撮影 他	
12:35	お昼休憩 (「豊受野菜の百姓弁当」※事前予約可)	
	来賓発表「(仮題)血液をつくる腸こそが 免疫と健康の基本!」	酒向 猛 (千島学説・腸造血説研究家 医師)
	農業・農産物加工 事例報告	日本豊受自然農スタッフ リレー発表
	休憩	
	体験発表	豊受会員
	基調講演「土と腸は大事! ～土の土壌菌と人間の腸内細菌は同じだった!～」	由井寅子 (大会長 日本豊受自然農株式会社 代表 自然農農民・自然療法家)
	休憩	
	パネルディスカッション	由井大会長、ご来賓他
17:25	閉会挨拶 (プログラム終了 17:30 予定)	大会長 由井寅子

※プログラムの内容、時間は、予告なく変更になる場合がございます。最新の情報はシンポジウム特設サイト (<https://toouke.com/kyoto2020/>) をご覧ください。